令和７年度シラバス（保健体育）　　学番６　新潟県立新潟東高等学校

教科(科目)	保健体育（ 体育 ）	単位数	３単位	学年(コース)	１学年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

1　グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。 ○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。 ○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。 ○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。 ○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。 ○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。 ○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。

2　学習目標

体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに，自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3　指導の重点

(1)　運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。
(2)　生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3)　運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

4　評価の観点の趣旨

知識・技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多 様性や体力の必要性について理解しているとともに，それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために，運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするとともに，健康・安全を確保している。

5　評価方法

知識・技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ、 ・技能の習得状況 ・スポーツのルールに関する知識 ・安全にスポーツを行うための知識 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・試合形式の企画および運営方法の理解 ・振り返りシートの記入状況 ・チームワークや仲間を思いやる気持ちを持って授業に取り組むことができるか。 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・安全面への配慮（服装などを含む） ・出席の状況 ・スポーツにおける公正な態度 などから評価します。

6　学習計画

月	単元名	教材名	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	オリエンテーション			1	評価なし
	体つくり運動		※1　体つくり運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，運動を継続する意義，体の構造，運動の原則などを理解するとともに，健康の保持増進や体力の向上を目指し，目的に適した運動の計画を立て取り組むこと体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体は互いに影響し変化すること や心身の状態に気付き，仲間と自主的に関わり合うこと。	2	※2　授業態度及び学習への取り組み姿勢から評価

5	陸上競技 ５０m １００m ハードル		陸上競技について記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，各種目特有の技能を身に付けること。 短距離走では，中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることや，ハードル走では，スピードを維持した走りからハー ドルを低く越すこと。	１０	※６　授業態度及び学習への取り組みと技能テスト、学習カード、振り返りシートなどから総合的に評価する。
6	サッカー (ゴール型)		球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。	８	※７　授業態度及び各種区別の段階的な学習とその取り組み及び試合形式競技成績などから総合的に評価する。
7	バスケットボール（ゴール型）			８	
8	体つくり運動		※1	1	※2
9	陸上競技 持久走		陸上競技について記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，各種目特有の技能を身に付けること。長距離走では，自己に適したペースを維持して走ること。	１０	※6
	ソフトボール (ベースボール型)		球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ベースボール型では，安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。	８	※7
10	柔　　道 ダ ン ス		※3　柔道について，技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，伝統的な考え方，　技の名称や見取り稽古の仕方，体力の高め方などを理解するとともに，基本動作や 基本となる技を用いて攻防を展開すること。 ダンスについて，感じを込めて踊ったり，交流や発表の仕方，課題解決の方法，体力の高め方などを理解するとともに，それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすること。	８	※4授業態度及び各種区別の段階的な学習とその取り組み及び型や礼法などから総合的に評価する。
11	バドミントン (ネット型)		※5	１０	※7
12	体つくり運動		※1	５	※2
1	体つくり運動				
	柔道・ダンス		※3	８	※4
2	バドミントン (ネット型)		※5　球技について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体 力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と 連携しゲームを展開すること。ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。	１０	※7
	バレーボール (ネット型)			１０	
3	体育理論	現代保健体育	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 １人間にとって「働く」とは何か　２スポーツの始まりと変換 ３文化としてのスポーツ　４オリンピックと国際理解 ５スポーツと経済　６ドーピングとスポーツ理論	６	授業態度及びプリント・課題の内容及び提出

計 105 時間（50 分授業）

7　課題･提出物等

・各実技種目にはスキルテストがあり、技能の評価も重要視している。
・体育理論においては課題プリントの提出を求められる。

8　担当者からの一言

・技能や実技の記録だけでは評価を付けることは無いので、授業態度や号令や体操での声出し、道具の出し入れの積極的なお手伝い等の行動面も重要な評価基準となっている。運動が苦手でも自分なりの頑張りをしっかりと見せて貰いたい。

担当　　体育科